

英文學評論

第 XIII 集

コリンズの『雜題頌詩集』

—擬人法と想像の問題— …………… 酒 井 幸 三

アーノルドの古典主義 (2)…………… 川 田 周 雄

『キャスターブリッジの町長』

—性格の悲劇— …………… 岡 田 洋 一

William Golding and Jehovah…………… *Dennis Keene*

京都大学教養部英語教室

目次

コリンズの『雜題頌詩集』

——擬人法と想像の問題——……………酒井幸三……………(一)

アーノルドの古典主義 (2)……………川田周雄……………(三二)

『キャスターブリッジの町長』

——性格の悲劇——……………岡田洋一……………(六四)

William Golding and Jehovah……………Dennis Keene (1-16)

編集後記

冬空に穏やかに指を拵げている学園の樹立を眺めると、昨秋から今年の始めにかけての激烈な学生運動も、何か遠い出来事のように思えます。

大管法は国会上程見送りはなったものの、それがよってきつた精神を考えれば、目覚めているときに目を開けて、とっくり考えておくことが必要なように思われます。

いろいろな事情から、戴けるはずだった原稿三・四編が戴けず、かつ発行が遅れましたことは編集者の不手際と、深くお詫び致しますが、ともかくもあの「響きと怒り」の中から静かなる力作を寄せられた方々に、厚く御礼を申しあげます。

それにしても、教育者であることと研究者であることとを同時に要求されるわれわれにとって、この二つをいかに両立させてゆくか、前途はますます厳しいといえましょう。

教室では、アジア財団によるインテンシヴ・メソッドの実験計画に、岡照雄、嶋原真一両氏がホテルに六週間宿泊して協力にあたられ、中野正順、大浦幸男両氏が英語教授法視察のため、米国へ出張される等、「新しい英語教育」への胎動の感じられる一つの時期でした。デニス・キーン氏が本誌への御寄稿を置土産に、近く帰国されることになりました。二ヶ年間の御好意御協力を感謝いたします。

記録的な酷寒も和らいで、ようやく春めいてきました。しかし大学を、日本を、世界を俺う不連続線が晴れ上る本当の春の日の訪ずれまで、努力を重ねてゆきたいものです。最後に、留学中の方々の御健闘をお祈りいたします。

(Y・O)

英文学評論 第十三集

非売品

昭和三十八年三月二十三日 印刷
昭和三十八年三月三十日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 山崎 正雄

印刷所 内外印刷株式会社

京都市下京区西洞院七条下ル

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

VOL. XIII. March 1963

CONTENTS

- Collins's *Odes on Several Descriptive
and Allegoric Subjects*.....*Kozo Sakai*
- Classicism of Matthew Arnold (2).....*Kaneo Kawada*
- The Mayor of Casterbridge* as a tragedy.....*Yoichi Okada*
- William Golding and Jehovah.....*Dennis Keene*
-

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY